

労務 ROAD

【エイジフレンドリーな職場づくりを進めましょう】

皆さんの職場は、高齢者が安心して働ける環境になっていますでしょうか。働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーガイドライン（高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）が策定されました。

高齢者を取り巻く労働環境

- ・働く高齢者が増加
(60歳以上の雇用者数は過去10年間で**1.5倍**)
- ・労働災害のうち60歳以上の労働者が占める割合は**1/4以上**(2019年は27%)
- ・労働災害発生率は、若年層に比べ**高齢層で高い**

労働災害が続けば人手不足を招くおそれも・・・



安心して安全に働くことのできる職場づくりを！

【事業主に求められる事項】

高齢者の就労状況や業務の内容等の実情に応じ、実現可能な対策に取り組みましょう。

①はじめに	対策（一例）
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営トップが取り組む方針を表明し、担当者や組織を指定する ・身体機能の低下等による災害事例やヒヤリハット事例から洗い出し、対策の優先順位を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場改善ツール「エイジアクション100」のチェックリストを活用
②職場環境の改善	
<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能の低下を補う設備・装置の導入（主としてハード面の対策） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業場所の照度を確保 ・作業台の高さや配置の改善 ・階段へ手すりの設置
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢労働者の特性を考慮した作業管理（主としてソフト面の対策） 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間や隔日勤務の導入 ・作業スピードの配慮など作業内容等の見直し
③高齢労働者の健康や体力の状況の把握	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康状況の把握 ・体力の状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の確実な実施 ・継続的な体力チェック
④高齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の基礎疾患の罹患状況等の健康や体力の状況を踏まえた措置 ・労働者の状況に応じた業務の提供 ・心身両面にわたる健康保持増進措置 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた適合する業務のマッチング ・フレイルやロコモティブシンドロームの予防を意識した健康体操の実施
⑤安全衛生教育	
<ul style="list-style-type: none"> ・経験のない業種・業務に従事する場合、特に丁寧な教育訓練を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育資料は写真や図、映像等の文字以外の情報を活用

【労働者に求められる事項】

- ・一人ひとりの労働者が、事業者が実施する取り組みに協力しましょう。
- ・日頃からストレッチや軽い運動など、自らの健康づくりに積極的に取り組みましょう。

【厚生労働省 より】

VOL.719
(2010—4)



(旧 河本社労士事務所)

〒541-0056
大阪府中央区久太郎町
1-9-26 船場 ISビル 5F
TEL:06-6264-6264
FAX:06-6264-6265
HP: <https://k-s-j.net/>
編集担当：君野・木下・黒瀬

社長が入れる
労災保険のことなら

「葛城経営研究会」

詳しくは、
06-6264-6543 まで！

だんだん朝晩は冷えてきて、季節の移り変わりを感じています！私は虫が苦手なので、涼しくなってきたて虫が減るのがうれしいです^^
ただ、秋になると新たな敵が出現してきており、道に落ちている銀杏をジャンプして避けながら通るのが新たな日課になっています。(黒瀬)

10月 労務スケジュール

- ・9月分の社会保険料納付
- ・延納をした場合の労働保険料（第2期）の納付
- ・7～9月分の労働者死傷病報告の提出
(10/1～10/31)